

「市長への手紙」HP掲載データ（令和4年7月分）

見出し	0407-1 久慈川河川のベンチ
ご意見	久慈川河川敷に設置しているベンチのペンキを塗りなおすか、プラスチック製に交換して欲しい。ベンチの数を増やして欲しい
回答	<p>ご提言のありました久慈川河川公園内のベンチについてですが、平成6年に設置してから28年が経過しており、これまでも座板の取替えや塗装塗替え等の修繕を行ってきたところであります。</p> <p>今回のご提言を踏まえ、現地を調査した結果、塗装の劣化が進行している状況が見られることから、塗装塗替えを検討してまいります。</p> <p>また、ベンチの増設についてですが、河川敷内に設置しているベンチでありますことから、増水時の河川の流れの阻害とならないよう、区間を限定して設置しているものであり、一定の整備は完了しているところでありますので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p> <p>今後におきましても、安全、快適に公園を利用できるよう適切な維持管理に努めてまいります。お気づきの点がありましたら情報提供くださいますようお願いいたします。</p>
担当課	道路河川維持課 電話：0194-52-2151

「市長への手紙」HP掲載データ（令和4年7月分）

見出し	0407-2 個別避難計画の策定促進
ご意見	個別避難計画の策定促進について
回答	<p>個別避難計画は、一人暮らしの高齢者や障がい者など、災害時に自力のみで避難することが困難な方々（避難行動要支援者）について、避難を支援してくれる人（地域支援者）をお願いしておくということが、作成の重要点の一つになります。地域支援者は、近隣の方々でなくては現実の支援は不可能であり、個人でなくても、とりあえず町内会、自主防災会などとしておくことも可能です。また、計画作成をきっかけに、自分や家族にとって、必要な対策や物品などに気付くということも期待できるので、可能な限り自ら、あるいは身近な方が作成することが大切であり、行政や関係機関は必要な支援を行いながら策定率の向上に努めて参ります。</p> <p>災害は、全ての個人・団体ができることをやり、相互に連携を深めていかなければ対峙できません。個別避難計画についても作成するだけではなく、避難訓練で実践し、見直しを行うことや、居住地区の防災活動との連携を図ることなどが必要であり、日ごろから住民同士の交流を深め、共助の大切さを認識しておくことが重要です。市としましては、個別避難計画の作成率及び実効性向上のためには、この共助の普及啓発・促進と、関係団体との連携強化・拡大が重要課題として取り組みを進めております。</p>
担当課	社会福祉課 電話：0194-52-2119

「市長への手紙」HP掲載データ（令和4年7月分）

見出し	0407-3 久慈市の防災
ご意見	久慈市の防災について
回答	<p>岩手県が本年3月29日に公表した津波浸水シミュレーションの前提条件では、朔望満潮時の津波来襲で、地震発生に伴い防潮堤や河川堤防などの構造物が沈下し、且つ、これらの施設を津波が越流した時点で破堤するという最悪のケースを想定したものとなっております。</p> <p>市内の広範囲で浸水が想定されている、このシミュレーション結果を受け、今後、市では、津波避難計画を策定し、津波からの避難に必要な施設の整備を進めていくこととしております。</p> <p>今後におきましては、想定外の事態においても適切な対応ができるよう、また、どのような備えが必要であるかなど、様々な検討を行い、防災体制の向上に努めてまいります。</p>
担当課	消防防災課 電話：0194-52-2368

「市長への手紙」HP掲載データ（令和4年7月分）

見出し	0407-4 久慈市役所のデータバックアップ移転
ご意見	久慈市役所のデータバックアップ移転を含め、久慈市としての御検討を希望します
回答	<p>久慈市におけるデータバックアップにつきましては、久慈市役所、山形総合支所及び市外データセンターに保存し、大規模災害におけるデータ損失の対策を実施しているところであります。</p> <p>機器更新等に合わせ、回線の冗長化及びバックアップデータからの迅速な業務の再開など、引き続き災害対策に努めてまいります。</p>
担当課	情報システム課 電話：0194-54-8006